

東通村と国立大学法人弘前大学との連携調査研究事業について



東通村



弘前大学

協定の締結を契機として、東通村と弘前大学は今年度、以下の3事業を連携・協力して実施します。

1. 寒立菜のブランド強化調査研究事業

寒締め野菜「寒立菜」の更なる品質の向上と生産量の拡大を図るとともに、知名度を全国的なものとし、ブランド化と産地化を目指します。

また、品質と価値に見合った価格帯で取引がなされるよう、販売方法の構築や新たな販路の開拓を行い、価格形成力をつけ、冬季の安定的な農業所得に繋げていくための調査研究を行います。

2. 農業施策及び農業経営モデル構築調査研究事業

農業後継者の育成と新たな就農者を増やしていくため、高収益かつ安定的な農業経営を行うための経営面積、栽培種目、収益等を網羅した東通村農業経営モデルを明らかにし、必要な施策の調査研究を行います。

3. 地域商社構築調査研究事業

農産物等の地域資源を生産・加工・販売までの一貫したシステムと新たな雇用を生み出す体制を構築するとともに、農商工連携による高付加価値化の実現を目指し、東通村版地域商社の設立に関する調査研究を行います。